



概要

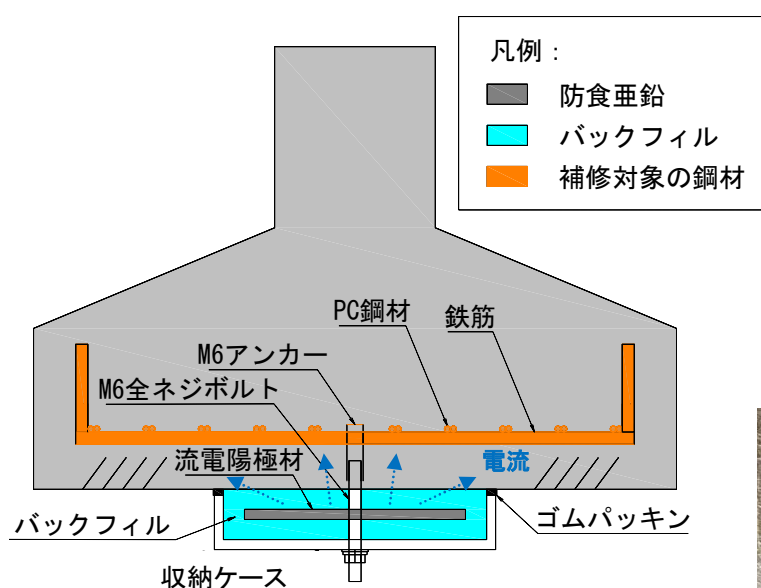
summary

ジンク

Znカートリッジ工法 ー表面設置タイプー は、塩害等により発生したコンクリート内部の鋼材腐食に対して、防食亜鉛を流電陽極材として用いて腐食を緩和する工法です。

非硬化型のバックフィル、流電陽極材、M6ボルト、収納ケースから構成されるZnカートリッジを鋼材と接続することで、主としてコンクリート表面に位置する鋼材の腐食が緩和されます。

【設置概要図】



流電陽極材(防食亜鉛)
φ110mm、t=5mm



特長

- 腐食の緩和効果
鋼材と流電陽極材との電位差により鋼材に電流を供給する電気化学的な補修工法であり、鋼材の腐食が緩和されます。
- 簡単な維持管理
通電量の調整等の維持管理は不要です。電流量、電位等の計測のみで維持管理できます。
- 容易な施工と取替
流電陽極材はあと施工アンカーで固定するタイプのため、容易な施工と取替ができます。
- マクロセル腐食対策
マクロセル腐食を抑制できるため、断面修復部近傍等に生じやすい塩害による再劣化対策としても有効です。

SIP北陸
共同開発技術

特許出願中

NETIS登録技術
KT-180150-A

適用例

applications



飛来塩分に対する鋼材腐食緩和対策

プレテンション方式PC桁への適用事例



グラウト充填不足部からの塩化物イオンの拡散に対する
鋼材腐食緩和対策

ポストテンション方式PC桁への適用事例

- ・RC構造物、PC構造物問わず、本工法の適用が可能です。
- ・橋梁上部工、下部工問わず、本工法の適用が可能です。

施工手順

procedure

①事前調査工



鉄筋探査により、鉄筋位置
をマーキングした後に、取り
付け位置をマーキングします。

②流電陽極設置工



所定位置にM6アンカーを設置した後に、Zn
カートリッジを設置します。

③完成

